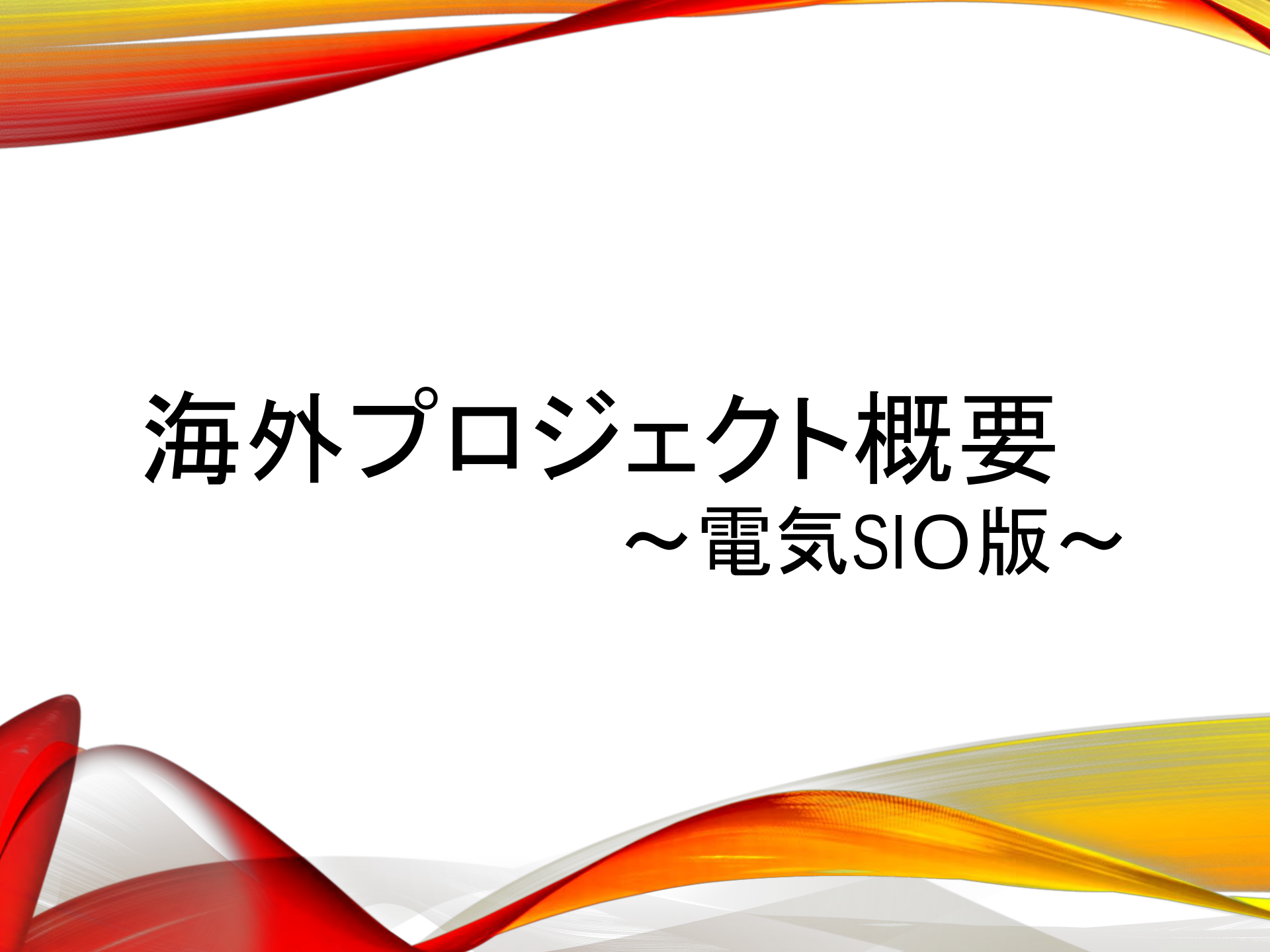




海外プロジェクト概要

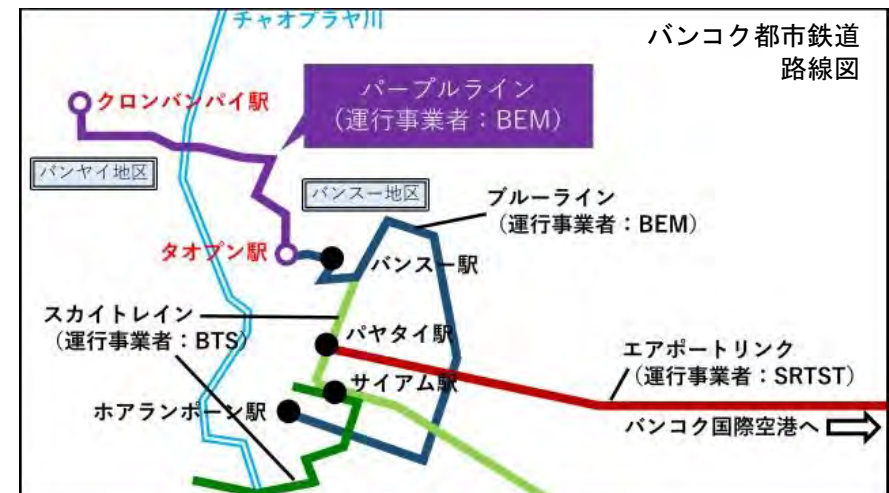
～電気SIO版～

パープルラインの概要

- ・ 運行事業者 : Bangkok Expressway and Metro Public Company Limited (BEM)
- ・ メンテナンス会社 : Japan Transportation Technology Co., Ltd. (JTT)

(JR東日本 出資会社)

- ・ 区 間 : タオプン～クロンバンパイ
- ・ 駅 数 : 16駅 (約23km)
- ・ 車 両 数 : 63両 (3両編成×21本)
- ・ 運転間隔 : ピーク時6分程度 (12本)
- ・ 開 業 日 : 2016年8月6日



【電気SIOが行った業務】

- 開業後のメンテナンスにおける不具合事例の課題解決サポート
- 次期10年間メンテナンス計画の提案
- 延伸予定区間に関する変電としての懸念事項確認

インド高速鉄道プロジェクトの概要

- ・「インド鉄道ビジョン2020」において7路線の高速鉄道構想が計画。
ムンバイ～アーメダバード間約500kmが最優先整備路線として決定。
- ・2015年12月にムンバイ～アーメダバード間の高速鉄道路線が日本の高速鉄道技術(新幹線システム)の採用を決定。
- ・2016年12月「インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査」に着手。共同企業体JICCを設立し、詳細設計、入札図書作成および円借款事業の入札支援等について調査を進めている。

【電気SIOが行った業務】
JICからの要請により、設計業務への技術者派遣や設計照査業務を実施。





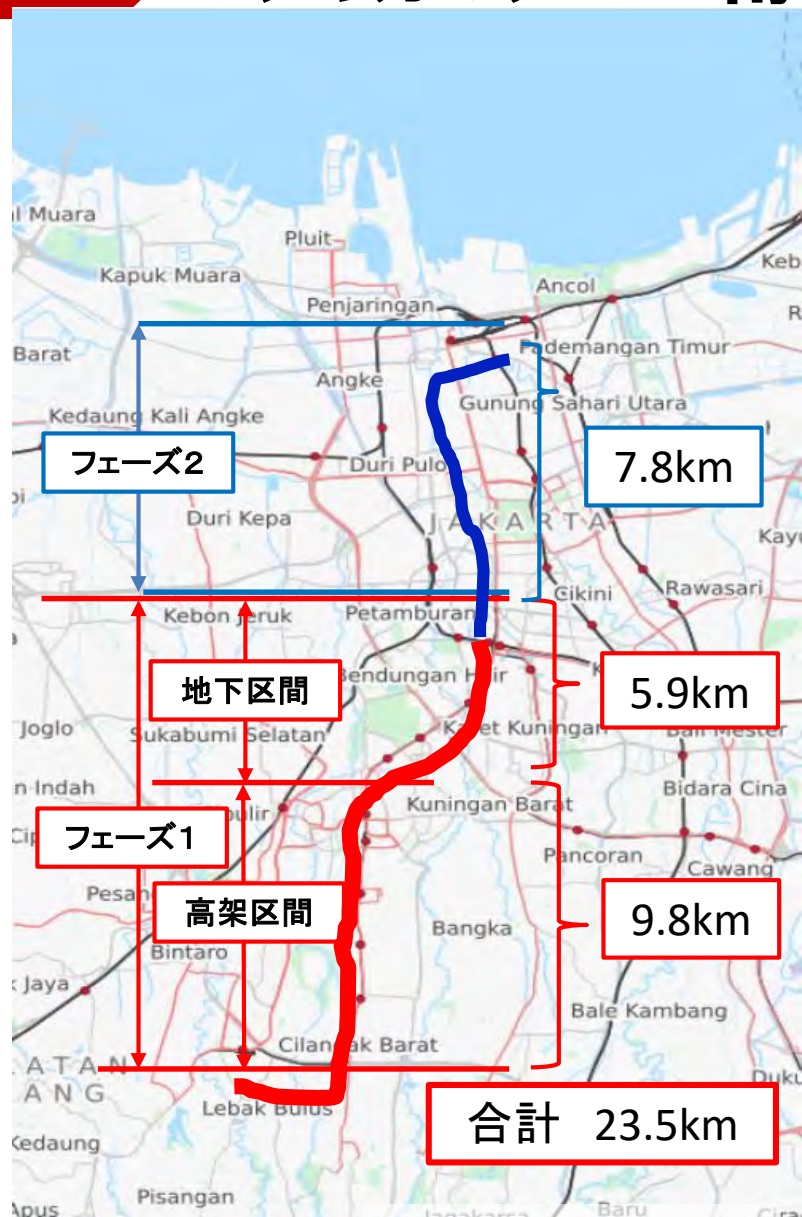


マリンドライブ(ムンバイ)



フマユーン廟(デリー)

ジャカルタMRT南北線（フェーズ2）の概要



急速な都市化により深刻化した交通渋滞の解消のため、ジャカルタ中心部に東西線と南北線から成る都市高速鉄道(MRT)を整備する計画。フェーズ1の区間は2019年4月に開業済。フェーズ2に当たる北部区間は、ブンデラン HI～カンポンバンダン間、区間総延長 7.8kmの区間に土木、電気、車両調達等を行うプロジェクト。

- 運行事業者: MRT Jakarta
- 駅数: 8駅(地上1駅 地下7駅)
- き電方式: DC1,500V
架空(地上区間)、剛体架線(地下区間)
- 信号方式: CBTC
- 運転間隔、車両編成: 5分間隔、6両/編成
- 開業: 2025年6月

出典: JICA事業評価報告書よりジャカルタ都市高速鉄道事業(フェーズ2)(第一期)

【電気SIOが行った業務】

JICからの要請により、設計業務等を支援。今後は施工監理への支援を継続して実施していく予定。



0716
BUNDARAN HI

KRL

LEBAK BULUS

